



第9回 全国人工衛星・探査機模型製作コンテスト 募集要領

1 コンテスト概要

岐阜かがみがはら航空宇宙博物館(愛称「空宙博」)では、先人の空・宇宙への憧れ、挑戦の物語を伝え、子どもたちにチャレンジスピリットと感動を与える博物館を目指しています。

高校生等が宇宙で活躍する人工衛星や探査機の模型製作を通じて、様々な機体の姿や役割を知り、宇宙開発の魅力に触れることを目的とし、リアリティや技術力を競う模型製作コンテストを開催します。

2 主催

岐阜県、各務原市、(公財)岐阜かがみがはら航空宇宙博物館

3 開催日程(コンテストの流れ ※1次審査以降は予定)

- 令和7年4月30日(水)～6月20日(金) 応募票の受付
- 令和7年6月下旬～7月中旬 1次審査
- 令和7年7月中旬～11月下旬 模型製作(※1次審査通過者のみ)
- 令和7年12月上旬～令和8年2月上旬 空宙博での作品展
- 令和8年2月上旬 最終審査・表彰式

4 応募資格

高校生及び高等専門学校1～3年生の、個人又はグループ(部活、クラブ等)
※教員等の引率者を必ず置いてください(兼任可)。

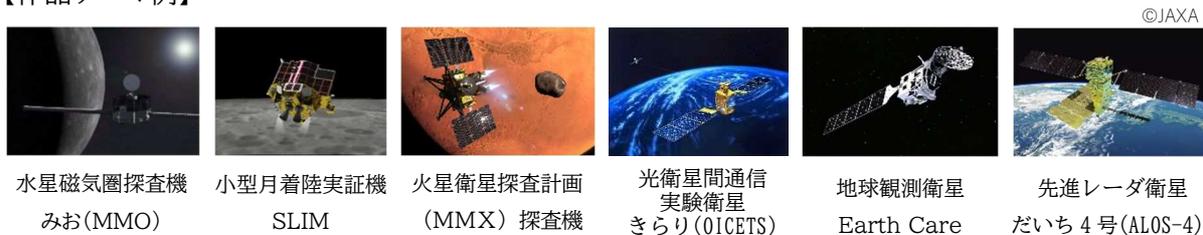
5 対象作品・要件

(1) 模型の種類

通信や気象観測用等の人工衛星、惑星や彗星等の探査機

- ・題材の選定は自由で、機体の開発主体(国内外・官民)は不問です。
- ・探査機にはランダー(着陸船)やローバー(探査車)も含まれます。
- ・正式に公表されているものであれば、現時点で運用されていない開発中の機体も募集対象とします。
- ・ただし、応募者の創作による機体など、実際の開発が予定されていない機体は対象外です。
- ・機体本体のほか、支柱・スタンド・台座等も含めた宇宙のイメージを演出した作品でも構いません。

【作品テーマ例】



(2) 模型の規格(寸法・材料等)

- ・模型の縮尺サイズは自由です。ただし、応募作品は「(D)1m×(W)1m×(H)0.7m」の展示台に設置できるサイズとしてください。
- ・作品の材料・材質は問いませんが、1年間の展示に耐えられる強度で製作してください。



(過去作品展の様子)

(3) 応募要件

- ・応募作品は、新規製作かつオリジナルのものに限ります。
※過去の応募と同じ機体をテーマにすることも可能ですが、模型は新たに製作してください。
- ・成形済みの組立キットや完成品をベースとする作品は対象外とします。

(4) 表彰

- 最優秀賞・・・賞状、賞金5万円、記念品
- 優 秀 賞・・・賞状、賞金5万円、記念品
- 佳 作*・・・賞状、賞金5万円

※最優秀賞、優秀賞以外の全ての1次審査通過者

6 応募・審査方法

(1) 「コンテスト応募票」の提出

空宙博の公式ウェブサイトから「人工衛星・探査機模型製作コンテスト応募票」をダウンロードし、必要事項を記入して以下の宛先まで提出してください。

空宙博公式ウェブサイト <https://www.sorahaku.net/>

【提出期限】 令和7年6月20日(金)必着

【応募票の送付先・方法】

岐阜県商工労働部 航空宇宙産業課宛てにメールで提出してください。

メールアドレス c11354@pref.gifu.lg.jp

- ※件名を「全国人工衛星・探査機模型製作コンテスト応募票」としてください。
- ※添付ファイルが5MBを超える場合は、ファイルを分割して送付してください。
- ※メールでの提出が難しい場合は、書類を以下の住所まで郵送してください。

〒500-8570 岐阜県岐阜市藪田南2-1-1
 岐阜県庁 航空宇宙産業課 企画連携係 宛て
 (封筒に「全国人工衛星・探査機模型製作コンテスト応募票在中」と記載してください)

(2)1次審査(6月下旬～7月中旬)

- ・有識者が、応募票を対象とした書類審査を行います。
- ・1次審査通過者のみが次のステップに進めます(実際に模型を製作いただきます)。

【予定通過組数】

- ①上位5組
- ②6位以下の初応募校※における上位2組で、審査通過することに対して過半数の審査員の合意が得られた応募者(=最大2組)
- ※より多くの学校に参加いただくため、「初応募校枠」を設けています。初応募校とは、過去に本コンテストに1度も応募したことがない“学校”を指します。

【審査基準】

項目	配点	審査内容
製作計画(製作方法・実現可能性)の具体性ポイント	50点	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような作品を製作するのか、機体の姿やサイズ、背景の演出等が具体的に説明されているか。 ・予定している材料や加工、組立等の製作方法は、作品のリアリティを高められるよう具体的に考えられているか。 ・製作方法やスケジュールは現実的か。
製作上の創意工夫ポイント	40点	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館の展示物として、リアリティを追求し、機体の特徴をわかりやすく伝えるための独創的な工夫や演出が考えられているか。
製作に対する意欲(チャレンジスピリット)ポイント	10点	<ul style="list-style-type: none"> ・応募動機等から、応募者にとって難易度が高い製作方法や新たな試みに積極的に取り組む意欲が感じられるか。

※審査結果の問合せには対応できませんので、あらかじめご了承ください。

(3)模型作品の製作(7月中旬～11月下旬)

1次審査通過者に、応募票に基づき実際に模型製作をしていただきます。

(4)作品展の開催(12月上旬～2月上旬)

- ・完成した作品を、別途指定する日までに博物館に搬入し、展示台に設置してください。
- ・作品を博物館まで配送する場合は、製作者の責任で破損対策を行ったうえで送ってください。

【搬入期間】 令和7年11月下旬の2週間程度

【展示期間】 令和7年12月上旬～令和7年2月上旬

【展示会場】 〒504-0924 岐阜県各務原市下切町5丁目1番地
 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館

(5)最終審査(2月上旬、表彰式と同日)

- ・有識者が実際の作品を見て審査し、最優秀賞及び優秀賞を選定します。
- ・模型製作者には、審査前に審査員に対して作品をアピールするプレゼンテーションを行っていただきます(発表時間3分程度+質疑応答2分程度)。

【審査基準】

項目	配点	審査内容
クオリティ	50点	・機体の形状(パーツの大きさや比率、構造)は正確性が高いか。 ・塗装や加工は丁寧に行われているか。 ・1年間展示ができる強度のある作りになっているか。
創意工夫	30点	・博物館の展示物として、模型の姿や背景の演出などから、リアルかつ機体の特徴がわかりやすく伝わる作品になっているか。
技術力	20点	・製作に当たり、適した技術を有しているか。 ・リアリティや強度を高めるため、高度な技術を駆使した点が認められるか。

※プレゼンテーションは審査対象外

※審査結果の問合せには対応できませんので、あらかじめご了承ください。

【参加人数】 原則生徒2名以内、引率者1名

(6)表彰式の開催(2月上旬、最終審査と同日)

- ・模型製作者は、表彰式に出席して賞状等を受領してください。
- ・当日の集合時間などの詳細は別途お知らせします。

【開催日】 令和8年2月上旬

【会場】 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館(岐阜県各務原市下切町5-1)

【参加人数】 原則生徒2名以内、引率者1名

(7)受賞作品の取扱い

- ・最優秀賞作品は、コンテスト終了後も1年間博物館に展示します。そのため、原則受賞者は岐阜県と貸与契約を1年間締結いただきます。
- ・上記以外の作品は、表彰式終了後各自で撤収してください。

(8)材料費・製作費について

模型製作にかかる一切の費用は製作者が負担するものとします。

(9)交通費について

作品搬入及び最終審査・表彰式の出席に係る交通費(旅費)を、学校所在地から会場までのルートに対して、岐阜県の旅費規程に基づき支給します。支給対象費用は以下のとおりです。

【対象費用】

- ・公共交通機関運賃(バス、鉄道等) ※航空機等の利用については事前にご相談ください。
- ・自家用車利用の場合、県規程により算出したガソリン代相当分を支給します。
※高速道路の利用については事前にご相談ください。
※レンタカーのレンタル代は支給対象外、タクシーは原則支給対象外
- ・行程上、宿泊の必要があると認められる場合、1泊につき9,800円/人程度を支給します。

【支給対象者】

- ・原則1グループにつき最大2名+引率者1名の計3名

【支払方法】

- ・コンテスト終了後、実際のルートを確認したうえで、岐阜県から製作者の希望口座に振込みます。
※領収書などの関係書類を提出いただく場合がありますので、コンテスト終了まで必ず保管してください。

(10)作品の運搬費用について

作品搬入搬出に当たり、宅配便による運搬費用を岐阜県が負担します。詳細は別途案内します。

7 その他注意事項

○本コンテストへの応募に当たっては、以下の事項に同意したものとみなしますので、事前にご確認のうえ応募してください。

- ・著作権、商標権などで第三者の権利を侵害することのないよう十分配慮してください。第三者とトラブルが発生した場合は、応募者自身の責任で解決してください。また、入賞を取り消す場合があります。
- ・模型製作者の学校・チーム名、作品名、作品写真について、主催者による報道発表や公式ウェブサイト等の広報媒体で公表するものとし、第9回コンテスト終了後も同様に公表する場合があります。
- ・作品展や最優秀作品の展示に当たり、展示場所や展示手段は主催者の指示に従うものとします。

○個人情報の取扱い

- ・応募に際して提供された個人情報は、岐阜県航空宇宙産業課が適切に管理し、審査、発表に関わる事項以外には使用しません。また、応募者の同意を得ている場合や法令に基づく場合を除き、取得した個人情報を第三者に提供しません。
- ・ただし、作品展や表彰式開催時には、氏名、学校名などを公表する場合があります。

○大規模地震の発生等の予期せぬ状況により、開催方法や日程を変更する場合があります。

【コンテストに関する連絡・問い合わせ先】

岐阜県 航空宇宙産業課 企画連携係

<T E L> 058-272-8837(平日 9:00~17:00 土日祝日を除く)

<F A X> 058-278-2653

<M a i l> c11354@pref.gifu.lg.jp

【参 考】直近第6～8回の最優秀賞・優秀賞作品

■第8回(令和6年度)

<最優秀賞>

月着陸船「RESILIENCE」



<優秀賞>

月探査機「Lunar Orbiter 1」



■第7回(令和5年度)

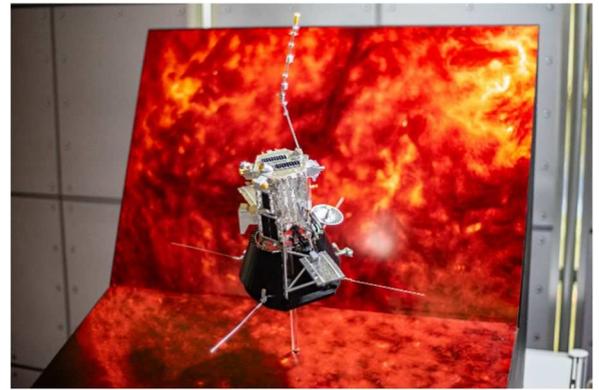
<最優秀賞>

火星探査機「Insight」



<優秀賞>

太陽探査機「Parker Solar Probe」



■第6回(令和4年度)

<最優秀賞>

3U キューブサット「OrigamiSat-1」



<優秀賞>

国際宇宙ステーション



【参 考】 第8回コンテストの1次審査通過作品



月面探査ロボット SORA-Q



月探査機 Luna16



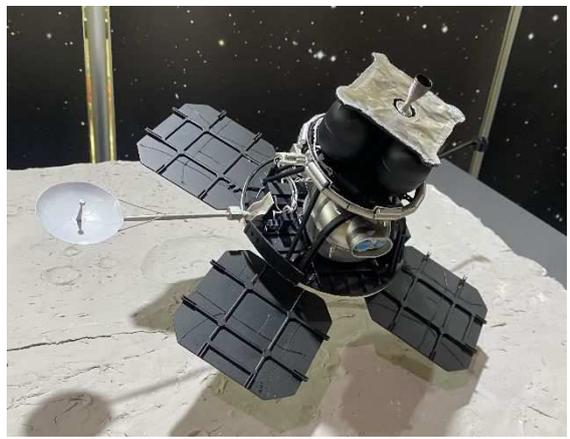
月着陸船 RESILIENCE



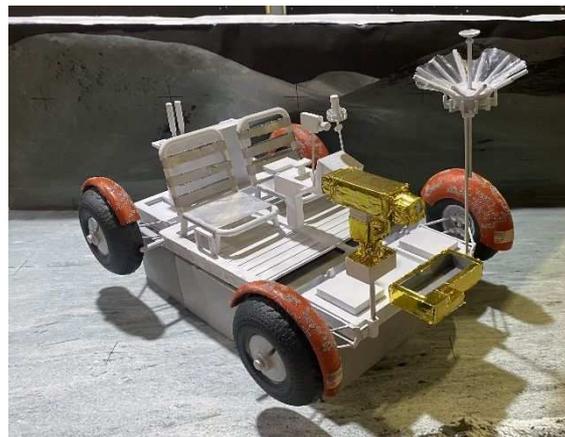
月探査機 嫦娥4号



月着陸船 RESILIENCE



月探査機 Lunar Orbiter 1



月面車 LRV

※第8回コンテストは、特別企画展「月への挑戦」に
合わせ、募集テーマを“月の観測や探査を行う機体”
に限定

第9回 全国人工衛星・探査機模型製作コンテスト 応募票

学校名 (チーム名)	※右上ヘッダーにも記入してください		
ふりがな 代表者氏名		学年	
引率者名		属性	(例)担任教諭、部活顧問等
学校住所			
連絡先	代表者生徒 or 引率者 ※一方を削除してください		
電話番号 (原則学校の電話番号)		E-Mail (原則学校のアドレス)	
ふりがな 参加者 ・ 学年		年	年
		年	年
		年	年
		年	年
確認事項	<p>① 応募に際して提出された個人情報、主催者が適切に管理し、選考、発表に関わる事項以外には使用しません。</p> <p>② 著作権、商標権などで第三者の権利を侵害することのないよう十分配慮してください。第三者とトラブルが発生した場合は、応募者自身の責任において解決していただくとともに入賞を取り消す場合があります。</p> <p>③ 模型製作者の学校・チーム名、作品名、作品写真について、主催者による報道発表や公式ウェブサイト等の広報媒体で公表するものとし、第9回コンテスト終了後も同様に公表する場合があります。また、作品展や最優秀作品の展示に当たり、展示場所や展示手段は主催者の指示に従うものとしします。</p> <p>④ 応募者は、著作者人格権を行使しないものとしします。</p> <p><input type="checkbox"/> 応募者は、上記①～④に示す確認事項に同意のうえ本コンテストに応募するものとし、応募票の提出をもって同意したものとみなします。</p>		

※応募者の個人情報は、本コンテストの目的以外に利用することはありません

※応募者の同意を得ている場合や法令に基づく場合を除き、取得した個人情報を第三者に提供することはありません

※メールアドレスは迷惑フィルタ設定を解除するなど、@pref.gifu.lg.jp から連絡がとれるようにしてください

作品名	
-----	--

※右上ヘッダーにも記入してください

1. 応募動機

コンテストの応募きっかけや、本コンテストで挑戦したいことを自由に記入してください。

<主な審査項目: 具体性(50点) 創意工夫(40点) 意欲(10点)>

2. 製作内容

- ・どのような作品を製作するのか、機体の姿やサイズ、背景の演出等について詳しく説明してください。
- ・材料や加工・組立方法案のほか、リアリティを追求し、機体の特徴をわかりやすく伝えるための工夫や演出などについて記載してください。(イメージ図、写真等の掲載も可)
- ・ページ数制限はありません。また、本様式以外での作成も可能です。

<主な審査項目:■具体性(50点) ■創意工夫(40点) ■意欲(10点)>

3. 製作スケジュール

1次審査が行われる7月上旬から11月末までの製作スケジュールを記入してください。
別紙として別の表や形態で作成してもかまいません。

<主な審査項目: 具体性(50点) 創意工夫(40点) 意欲(10点)>

内 容	7月	8月	9月	10月	11月
【記載例】					
調 査	←————→ (調査先) JAXA 相模原にある模型を観察 インターネットによる調査 等				
詳細設計	←————→				
製 作 ・資材調達 ・加工 ・塗装 ・組立 等		←————→ 資材調達 加工・塗装			組立
調 整				←————→ 適宜修正、見直し	
最終確認					←————→

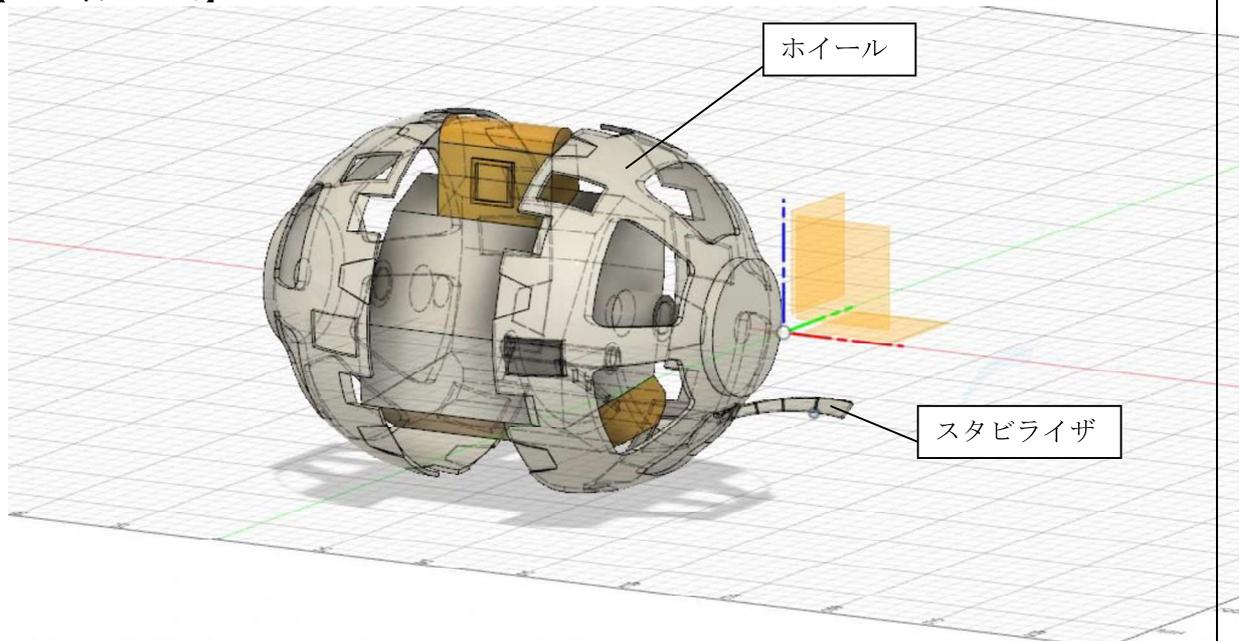
以上

2. 製作内容

【作品の特徴】

- ・SORA-Q、月面、宇宙空間（地球を含む）の大きく3つを盛り込んだ作品とする
- ・月面の表面を作り、そこにSORA-Qを置く（展示を考慮し、スタビライザと月面を固定する予定）
- ・実物のSORA-Qは直径約8cmであるが、展示物としてわかりやすくするため2~3倍のサイズで作る（縦・横・高さの寸法は30cm以内に収める予定）
- ・SORA-Qが月面を走行する様子を再現するため、ホイールが駆動できるようにする（ホイールは動くが、スタビライザと月面を固定して展示物として安定性を確保する）

【SORA-Qについて】



- ・ホイールは、金属での成型を検討する。困難な場合は3Dプリンタで成型して塗装する
- ・ホイールを動かすため、内部に小型モータを2個取り付ける
- ・ホイールの運動は、バタフライまたはクローラ走行の動きができるようにリンク機構を作る
- ・その他本体は、金属部品、3Dプリンタによる樹脂成型品を使い分けて製作する

【宇宙感の表現について（参考画像）】



- ・月面の表面形状は、3Dプリンタで凹凸を含めた表面形状を作るか、粘土で作る
- ・地球を含む背景は、黒紙をベースとして、地球を描くか、3Dプリンタで地球を作って貼り付ける
- ・デザイン系学科に協力を仰ぎ、SORA-Qを含めリアリティを意識した着色方法を研究する

2. 製作内容

製作項目	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
月面を走る 「SORA-Q」							
形状・寸法調査	 (調査先) インターネットまたは展示先で 各部形状・寸法の把握						
設計	 リアリティ追求のため、3DCADでの モデルの作り込みにこだわる						
製作・塗装 ・本体 ・ホイール ・月面、地球		 <ul style="list-style-type: none"> ・本体、ホイール（可動部）、月面・地球に担当を分けて同時並行に製作する ・工作機械を用いてアルミ材を精度よく加工するとともに、3Dプリンタを用いて立体的な形状を作り上げる ・過去のロボット製作で得たモーターや制御回路の知見を活かし、ホイールが回転するリンク機構を作る ・デザイン系学科に支援を要請し、SORA-Q実物に近づくよう、金属・樹脂部品に適した塗装方法を研究する ・月面表面は、3Dプリンタで作るか、粘土で作る ・背景は黒紙に地球を描くか、黒紙に立体形状の地球を貼る（地球については3Dプリンタで立体的に作ることを検討する） 					
組立・調整					 全体配置、 確認作業		

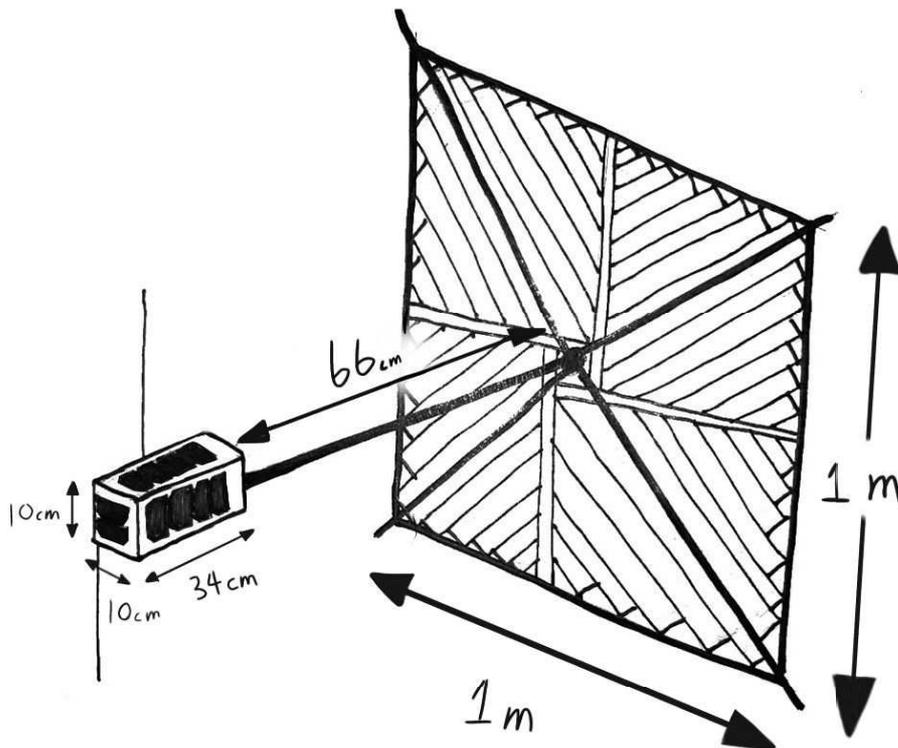
以上

3. 作品概要

サイズ：3U (10cm×10cm×34cm) **実寸大**で製作します。

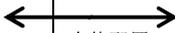
展開時 1m×1m

筐体は木材かプラスチック板で形を作り銀色はヴェロメタルか紙、塗装液などを使い重厚な金属感を再現し、筐体の表面の太陽光パネルは鉄板かプラスチック板に模様を加えて貼り付けます。また、膜はビニールにオレンジ色の紙をはさみ、対角線を棒状の塩ビパイプで固定します。筐体と膜の橋渡し部分も同様に塩ビパイプを使用します。細部は3dプリンターを使用します。稼働ギミックは作らず、外見を重視して製作することになりますが、その分一つ一つ細部まで作ります。固定は周囲に固定用フレームを用意し、釣り糸で支えます。



展開途中の様子を再現しますが、可能であれば展開時の origamisat-1 を実寸大で作成しようと思います。背景は、黒画用紙に蛍光塗料を吹き付け、恒星を表現し、宇宙空間を再現します。

3. 製作スケジュール

製作項目	7月	8月	9月	10月	11月	12月
地球を周回する 「origamisat-1」						
調査	 (調査先) 東京工業大学 寸法測定、写真入手					
設計						
製作・塗装 ・本体 ・膜(太陽電池) ・背景		 ・筐体と膜、2つに分かれて製作 ・塗装作業 ・小型部品は3Dプリンタを使用				
組立・調整				 全体配置、 確認作業		